

Title	第五十八巻第一号-第六号総目次：昭和四十年上半期
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1965
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.58, No.6 (1965. 6) ,p.1- 4
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19650601-0104

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌 第五十八卷 第一号、第六号 総目次 (昭和四十年上半期)

論 説

論 説	著者	号	頁	通頁
ソ連経済政策の予測……………	加藤 寛	一	一	一
ロバート・オウエンとウィリアム・ゴドウィン(上)……………	白井 厚	一	二〇	二〇
集团的厚生の極大化概念の形成過程(一)—— ト、パタレオーニ、パレー 初期労働組合組織における国際的比較の問題……………	松浦 保	一	三八	三八
——企業別組織の発生要因をめぐって大河内・矢島両教授の理論の批判——	飯田 鼎	二	一	八三
ロバート・オウエンとウィリアム・ゴドウィン(中)……………	白井 厚	二	二七	一〇九
現代財政学の支配的解釈に関する疑問について……………	高木 寿一	三	一	一五七
社会主義経済建設における後進国型とその中国的展開(一)……………	平野 絢子	三	二二	一七八
社会主義経済移行の物質的基礎としての国家独占資本主義の概念……………	平野 絢子	四	一	二四三
——社会主義経済建設における後進国型とその中国的展開(二)——	寺尾 誠	四	二六	二六八
エルベ以东・上ラウズイツ地方の農村市場町(一)……………	飯田 鼎	五	一	三三九
——イギリス職能別組合の生成過程(その一)……………	飯田 鼎	五	一	三三九
——産業革命前夜における労働者階級の組織形態について(毛織物業労働者)——	鳥居 泰彦	五	三二	三七〇
農家計構成員の労働供給スケジュール(Ⅰ)—— 常住・男子家族の労働供 給スケジュールの計測……………	田中 拓男	五	七一	四〇九
一次産品貿易の市場構造——伝統的・政策的・地理的要因の検証——	鳥崎 隆夫	六	一	一五三
近世前期における「経世済民」論の展開——山鹿素行の場合——	鳥崎 隆夫	六	一	一五三

社会主義経済建設における後進国型とその中国的展開(三)	平野 絢子	六	二二	一七三
農家家計構成員の労働供給スケジュール(II)——常住世帯員男子・女子グループ別の計測	鳥居 泰彦	六	四八	二〇〇

資料・研究ノート

十九世紀初頭のイングランドにおける労働移動の現象について	飯田 鼎	一	六〇	六〇
——「アース・レッドフォードの研究」「イングランドにおける労働移動、一八〇〇年—一八五〇年」を中心として				
日本産業革命期における漁業用生産手段生産部門の発展形態	高山 隆三	二	四五	一二七
副業的・季節的労働者の移動	西川 俊作	三	四二	一九八
一八六六年から一八六八年に至る				
第一インターナショナルの総務委員会にかんする史料(その一)	飯田 鼎	四	六五	三〇七
「資本一般」の体系と「競争」論——「資本論」における信用論展開の前提	飯田 裕康	五	一〇二	四四〇
アメリカ公有地と資本主義	岡田 泰男	五	一一一	四五九

学界展望

日本の近代化	中村 勝己	六	八二	二三四
--------	-------	---	----	-----

書評

サンヤコフ「十八世紀フランスにおける王権と夫役」	渡辺 國廣	一	七四	七四
--------------------------	-------	---	----	----

新刊紹介

ホルム・マントウ著 徳増榮太郎・井上共訳 『産業革命』	中村 勝己	二	六三	一四五
幸治・遠藤輝明共訳 『政治経済学1・一般的諸問題』——「広義の経済学」の視点	飯田 裕康	二	六七	一四九
オスカ・ランゲ著 竹浪 祥一郎訳 『政治経済学1・一般的諸問題』——「学」の視点	飯田 裕康	三	六五	一一一
日本労働組合総評議会編 『総評十年史』	飯田 裕康	三	七〇	一一六
岩田弘著 『世界資本主義——その歴史的發展とマルクス経済学』	堀内 昇	三	七四	一一〇
レンシス・ライカト著 『新しい型のマネジメント』	飯田 鼎	四	七九	一一一
ハイマン・カプリン著 『アジアの革命家——片山潜の生涯』	加藤 寛	四	八五	一一七
熊谷尚夫著 『経済政策原理』——最近の類書も含めて	佐藤 保	四	九〇	一一二
ゴールドバーガー著 『エコノメトリックセオリー』	深海 博明	五	一三六	四七四
J・ティンバーゲン著 『国際的経済統合』	大 山 道 広	五	一四三	四八一
坂垣与一監修 『欧州経済統合の分析と展望』	飯田 鼎	六	九三	二四五
高橋洗著 『日本の労資関係の研究』——「企業別組合」の構造と機能を中心として				

鈴木鴻一郎編 『帝国主義研究』	常盤 政治	一	七八	七八
玉野井芳郎編著 『大恐慌の研究』——一九二〇年代アメリカ経済の繁栄とその崩壊	常盤 政治	一	七九	七九
小泉仰著 『ミル』	白 井 厚	一	八〇	八〇
菊地昌典著 『ロシア農奴解放の研究』——ツァーリズムの危機とブルジョア的改訂	寺 尾 誠	一	八一	八一
出口勇蔵著 『ウェーバーの経済学方法論』	野地 洋行	二	七二	一五四
内田義彦・宮崎義一編 『経済学史講座』	飯田 裕康	二	七三	一五五
小林 昇・宮崎 一編 『経済学史講座』I——経済学史の基礎	平野 絢子	三	八一	一三七
富岡裕著 『社会主義経済の理論』	寺 尾 誠	三	八一	一三七
増田四郎著 『東と西』				

公正取引委員会『日本の産業集中』	植草益	三	八四	二四〇
事務局経済部編『日本の社会開発』	原豊	四	九六	三三八
前田清著『日本の社会開発』	植草益	五	一四九	四八七
藤田敬三著『日本産業構造と中小企業』	大山道広	五	一五〇	四八八
外務省編著『国連貿易開発会議の研究』	中村勝己	六	九八	二五〇
沢崎堅造著『キリスト教経済思想史研究』	佐藤保	六	九八	二五〇
J・ジョンストン著『計量経済学の方法』	佐藤保	六	九八	二五〇
竹内啓訳『計量経済学の方法』	佐藤保	六	九八	二五〇
F・ハーピソン、C・A・マイヤーズ著『経済成長と人間能力の開発』	佐藤保	六	九九	二五一
川田寿、桑田宗彦訳『経済成長と人間能力の開発』	佐藤保	六	九九	二五一